

多世代交流施設・空き家対策の先進地を視察 ～移住・定住促進等による地域の活性化を図るために～

産業建設委員会

11月18日、19日の2日間、愛知県知多郡阿久比町及び南知多町へ訪問し、行政視察を行いました。詳細については、以下のとおりです。

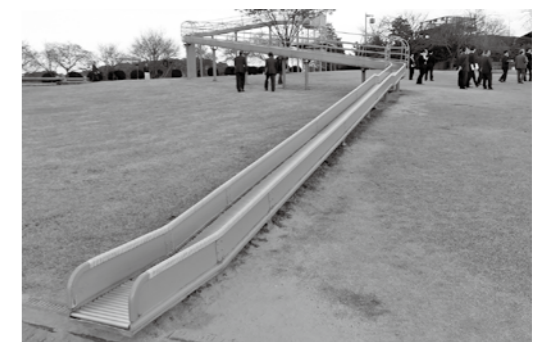
阿久比町立ふれあいの森 多様なニーズに対応しうる多機能施設の整備

熊野町では、「筆の里工房」を拠点とした観光交流の舞台づくりを行い、誘客の強化を図るため「筆の里工房周辺整備事業」が現在計画されています。

そこで、阿久比町において世代を超えたふれあい活動、青少年育成の拠点として町民の多様なニーズに対応しうる多機能な施設として成果を上げている「ふれあいの森（公園施設）」の整備における取り組み内容や問題点、これまでの経緯等について調査を行いました。

「ふれあいの森」は、広場のスペースが多い開放的な親水公園や遊具を備えた広場、スポーツ施設・研修施設・キャンプ施設等が整っている総合的で多機能な施設でしたが、多額の維持管理費が課題となっています。

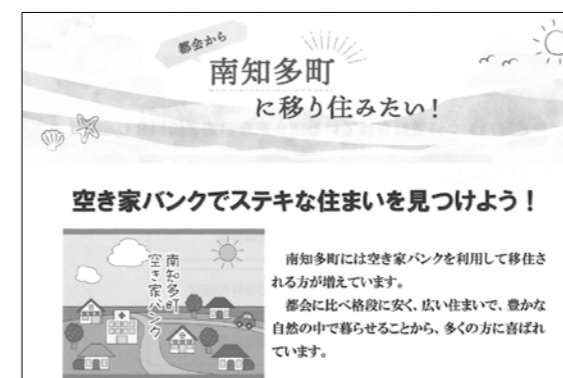
当委員会では、この視察内容について意見交換を行い、熊野町が「筆の里工房周辺整備事業」を実施するにあたっては、しっかりと方向性やコンセプトについて検討・協議したうえで施設整備にあたり、福祉関係にも目を向けた施設となるよう要望することを決定しました。



▲ ワンパク広場には、遊具が多数整備され、延長54.8mのローラー滑り台も設置されている

南知多町役場 「空き家バンク制度」の取り組み

近年、熊野町でも高齢化等に伴う空き家が増加し、その対策について検討が必要な状況となっています。南知多町では、空き家や空き地の有効活用と、移住・定住促進による地域の活性化を図るため、「空き家バンク制度」を設け成果を上げており、その「制度の概要及び実績」、「定住人口や地域活性化への効果」など、様々な取り組みの内容や課題等について調査を行いました。



▲ 空き家バンクのチラシ

「空き家バンク制度」とは、空き家等を売りたい人と購入（賃貸）希望者の要望を町で聞き、空き家所有者に購入（賃貸）希望者を紹介する制度のことです。

南知多町はこの制度を積極的に実施している自治体で、移住・定住人口の増加、空き家率の低下、地域の活性化等で成果を上げていることが確認できましたが、財源や年間予算との費用対効果を分析すると、熊野町に同等の制度をすぐに導入することは難しいのではないかとこの検討結果となりました。

しかしながら、当委員会では、「空き家バンク制度」は、移住・定住促進等のさまざまな分野で効果が期待できる制度であるため、熊野町に合った「空き家バンク制度」を模索するため、今後も引き続き調査・研究課題とすることを決定しました。

主要事業の実績および計画を確認 ～安全・安心な環境の整備について～

文教委員会

10月24日に文教委員会を開催し、教育部から「1学期の主要事業の実績」、「2学期の主要事業の事業計画」、「平成31年度全国学力・学習状況調査の結果」について説明を受けた後、意見交換を行いました。

1学期の主要事業の実績

- 小中学校空調設備設置工事（小学校66教室、中学校32教室に設置）
- 熊野東中学校屋外階段改修工事（老朽化した特別教室棟西側の屋外階段を改修し、避難時における経路の安全性を確保）
- 熊野町民会館エレベータ改修工事

2学期の主要事業の事業計画（抜粋）

- 小中学校ブロック塀改修工事（地震等による倒壊の可能性があるブロック塀を撤去しフェンスを設置：第一小344m、第三小94.2m、熊野中43.2m）
- 学校施設長寿命化計画策定業務（コストを平準化し適正な維持管理を行うための計画策定）
- ICT機器整備事業（小中学校へのタブレット端末及び電子黒板の整備）
- 学校体育館照明改修工事（第四小と熊野東中の水銀灯をLED化）
- 小中学校トイレ改修工事に伴う実施設計業務（子どもたちが安心して学校生活を送るための環境整備）
- 町民ランド改修工事（平成30年7月豪雨災害で発生した土砂等の仮置き場となっている町民ランドを復旧し、あわせてランド勾配を調整した排水機能の確保）



▲ 小中学校に整備されているタブレットについて説明を受けながら実際に操作

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果報告

小学校では国語・算数とも全国・県平均を超え、中学校では国語・数学・英語とも概ね全国・県平均並みでした。この結果を踏まえ、正答率を分析し授業改善につなげているとの報告を受けました。

今後も子どもたちや公共施設利用者が、安全に安心して過ごすことができるよう、事業の進捗状況や計画について説明を求め、環境改善につなげるため協議・要望していきます。

今月の表紙

「熊野レンジャーズ」
スポーツ少年団
大会に出場しました

児童軟式野球・熊野レンジャーズです。見逃しの三振より空振りの三振が出来る、気力あるチームを目指しています。親子で同じ目標に向かって歩めば、深い絆を築くことができます。その深い絆を築くための場として利用していただければと思っています。現在4年連続マツダZOOMスタジアムで試合をしており、2年連続カープジュニアを輩出しています。君もマツダZOOMスタジアムで試合を行い、カープジュニアになりましょう。一度気軽に見に来てください。代表指導者 脇本 宏幸 電話 090・5371・5739